

EKMATTRA

presents

A SHUBTASHISHI-ROY FILM

仙台でも
開催!!!

アリ地獄の ような街

THE WHIRLPOOL

大都市ダッカの闇。

子どもがアリ地獄に飲み込まれていく
現実の姿を描いた、リアルストーリー。



上映+ト

クセ

セッション

日時：2009年12月14日（月）18：30～21:15

場所：仙台メディアテーク7階スタジオシアター

概要：上映会+NGO創設者講演会

主催：「アリ地獄のような街」仙台上映実行委員会

協力：（特活）シャプラニール=市民による海外協力の会

後援：（独）国際協力機構東北支部（JICA東北）（予定）

（財）仙台国際交流協会

参加費：1000円（エクマツトラの自立支援センター創設等に充てられます。）

その他上映会場・日時はお公式ウェブサイトをご覧ください。

申込方法：裏面をご覧ください。

HIS

dpMAX

公式ウェブサイト

<http://www.arlijigoku.net>

「アリ地獄のような街」とは

この物語は、アリ地獄のように引き寄せられ、逃れることのできない、ダツカに存在する闇を描いた映画である。映画監督のシュボシシュ・ロイは、バングラデシュでストリートチルドレン支援活動を行うNGO、エクマツトラの代表であり、この映画は、ダツカで抑圧され、搾取されている子ども達の現状を知ってもらうために制作されました。途上国における「開発」や途上国の様々な問題の解決を考えると、まずその被害者をいかに変えていくか、彼らの状況をいかに改善していくかということばかりでなく、今、求められているのは、まずはこうした問題の存在を知ること、そして自らを変えていく、変革していくことではないかと考えたのです。そして、この映画にはこれを通して、一人でも多くの人、そうした「きっかけ」になればという想いが籠められることとなりました。映画の収益はストリートチルドレンのための自立センター設立のために活かされることとなります。

講演者プロフィール

渡辺大樹（わたなべ ひろき）

1980年生まれ、横浜市出身。金沢大学文学部卒。大学時代はヨット部に所属。タイ・ブーケットで行われたヨットの国際大会時にスラムの子どもを見て衝撃を受ける。帰国後1年間バイトで貯めたお金を持ち、世界最貧国の1つバングラデシュへ。2004年にエクマツトラを共同創設。バングラデシュの問題はバングラデシュ人の手により解決するべきと考え、現在は顧問として活動を指揮し、エクマツトラアカデミー設立に向けて奔走中。社会的弱者への教育（ストリートチルドレン支援活動）、エンパワーメントと、社会の裕福層への啓発活動の二つを軸に、活動を行っている。

実施概要

18:15～開場

18:30～映画上映

20:00～トークセッション

21:15 終了

会場



【申込方法】

氏名、人数、連絡先をご明記の上、2009年12月7日(月)までに下記アドレスにお申し込みください。尚、先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。参加費は当日回収致します。

【申込先】naoki1109naoki@yahoo.co.jp、090-1377-4190

(「アリ地獄のような街」仙台上映実行委員会実行委員長 東北大学4年 渡辺尚希)

【お問い合わせ】090-1377-4190 (同上)